

あんぜん

第34号

令和5年7月15日

公益社団法人 大河原町シルバー人材センター

◎新会員の拡大に向け、会員各位の口コミによる紹介をお願いいたします!!

安全は無理せず
焦らず 油断せず

安全・適正就業委員会委員長

村上 泰司

全国のシルバー人材センターでは、毎年七月を強化月間として安全・適正就業の推進に取組んでおり、標記は、今年度のスローガンのひとつです。

大河原町シルバー人材センターにおいても、「安全はすべてに優先する」との基本理念をモットーとして、人身事故はもとより物損事故を無くすため、安全・適正就業委員会による安全パトロールの実施、刈払機操作や植木剪定の講習会等を開催し、技術・技能の向上を図るほか、就業形態が請負・委任による就業として適切であるか十分に判断し請負うとともに、既存の就業についても随時確認を行っております。

今後とも、会員が安心して安全に就業出来る環境を築くため、会員の安全就業はすべてに優先するとの認識のもと、事故ゼロを目指し、会員の安全意識の徹底を図ってまいります。また、法令に基づき適正な就業に努めてまいります。会員ならびに役職員の皆様には、安全・適正就業に対する意識・認識を高めていただくとともに、長引いております新型コロナウイルス感染症防止への取組みの継続、熱中症対策の徹底や交通事故防止への取組みの徹底にも努めていただきますようお願いいたします。

全国安全スローガン

- 安全は無理せず焦らず油断せず
- 声掛けて目指すゴールはゼロ災害
- お互いを守る声掛け 大事な仲間



安全・適正就業強化月間

令和五年七月一日～三十一日

毎月一日は安全就業の日

安全・適正就業委員会

委員長 村上 泰司

副委員長 齋藤 優

委員 本田 元則

委員 加藤 正明

委員 佐藤 定男

委員 峯岸 昭雄

委員 目黒 彬

定時総会開催

これまで、新型コロナウイルス感染症防止のため代表者出席による総会としておりましたが、今回、四年ぶりに会員の皆様にお集まりいただき総会を開催することができました。

その詳細は次のとおりです。

○日時 令和五年六月九日(金)

午後一時三〇分～

○会場 中央公民館大ホール

○構成員 二二二名

○出席者 一六六名

(内委任状二二六名)

村上章理事長の挨拶の後、長年にわたり会員として活躍され、令和四年度中に退会された元会員九名の方に感謝状が贈呈されました。その後、大河原町長齋清志様をはじめご来賓の皆様よりご祝辞を頂戴いたしました。その後、村上泰司副理事長の議長就任により議事が進められました。議事の内容は次のとおりです。

★議案第一号
令和四年度事業報告

事業実績

① 会員数	二〇〇名
② 就業延人員	二〇、七三名
③ 就業率	七九・八%
④ 契約金額	一一五、八二六千円

★議案第二号
令和四年度収支決算報告

★《監査報告》
監査結果報告
令和四年度事業報告及び収支決算報告は、適正に示している」と認める。

★議案第三号
役員を選任(理事及び監事)

★報告第一号
令和五年度事業計画

事業目標

① 会員数	二二五名
② 就業延人員	二一、五〇〇名
③ 就業率	八六・〇%
④ 契約金額	一二六、〇〇〇千円

★報告第二号
令和五年度収支予算

★報告第三号
中期事業計画(五～七年度)

提案されました議案第一号から第三号につきましては、出席者(委任状含む)の賛成多数により、承認されました。

新たにスタート

理事長 村上 章

令和五年度の定時総会には、来賓各位にご臨席を賜り、また、多くの会員の皆様のご出席のもとに、全議案を原案どおり承認いただき、無事終了できましたことに感謝申し上げます。

さて、夏本番の季節を迎えますが、会員の皆様には、安全に十分注意して、就業してください。

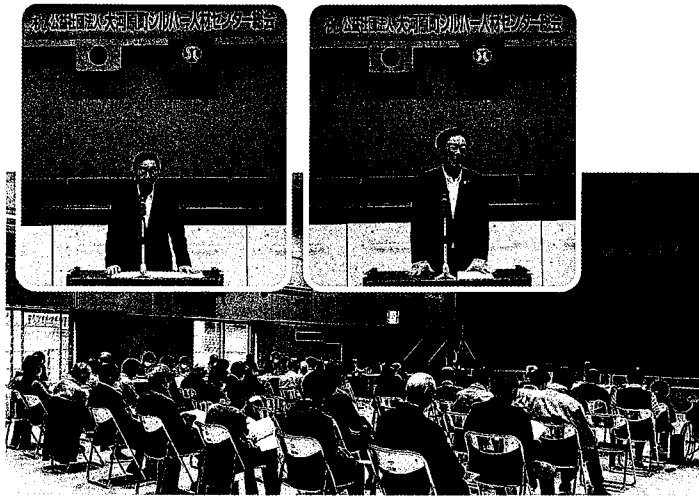
新役員一同、会員の皆様とともに地域に密着した愛されるセンターとして新たにスタートしてまいりますので、よろしくお願いたします。

新役員名簿

理事長	村上 章
副理事長	村上 泰司
理事	村上 喜男
〃	齋藤 優
〃	滝本 義信
〃	小野 良子
〃	本田 元則
〃	岩間 みよ子
〃	加藤 正明
常務理事	佐藤 尚敏
高橋 尚敏	
渡邊 文夫	
監事	

事務局職員です。会員の皆様の少しでもお役立ちできるようにこれからも頑張っております。

事務局次長	佐藤 公
主事	小野 秀一
主事	石沢 佳奈
主事	目黒 彬
推進員	加藤 正明
川向 由香里	
臨時職員	





安全就業基準について

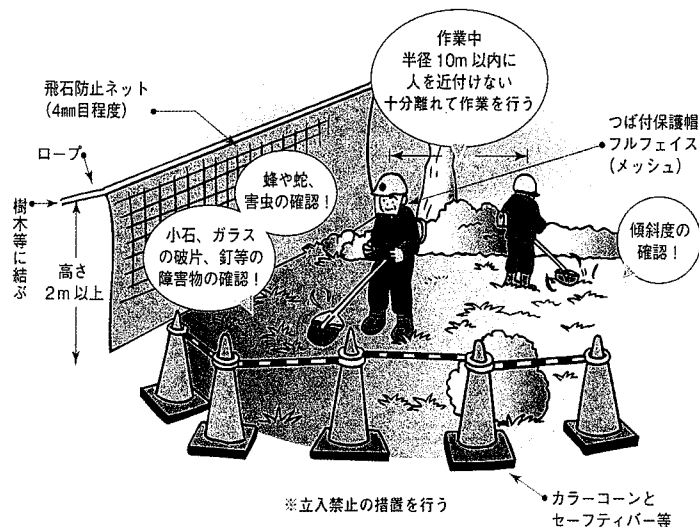


安全就業の心得…確認しましょう

- 作業は、安全第一を心掛け、急いだり、あわてたりしないこと。
- 器具類は、使用する前に必ず点検すること。
- 服装・履物は、作業に合った動きやすいものにすること。
- 作業前には、準備体操をして体をほぐすこと。
- 加齢による諸機能の低下を十分に認識し、無理をしないこと。
- 作業現場では、常に整理整頓を心掛けること。
- 共同作業では、合図、連絡を正確に行うこと。
- 行き帰りも仕事のうち、交通事故に気を付けること。
- 健康には、常に注意し、健康な状態で就業すること。
- 仕事の前日は、十分睡眠をとるように心掛けること。
- 酒気を帯びての就業は、絶対に慎むこと。

就業中の事故内容と対策

作業現場の状況確認



周囲の状況をよく確認してから、作業にかかりましょう。

蜂さされの防止

刺す蜂の代表的な蜂と刺される危険な時期

スズメバチ



7月~10月

アシナガバチ

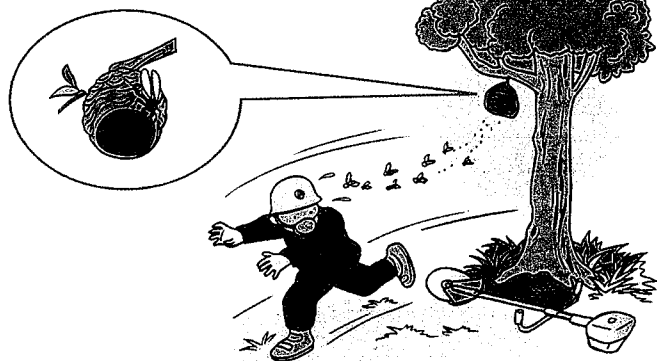


7月~8月

ミツバチ



通年



熱中症に注意しましょう

熱中症は炎天下の屋外のほか、高温多湿の屋内でも汗をかいて水分や塩分が過度に失われることで起こります。



頭痛・吐き気・めまい・けいれん等を引き起こし、ひどい場合は意識を失ったり死亡する危険性があります。

熱中症の予防には次のことが有効です。

(注) 夏以外でも高温多湿の環境下であれば熱中症の恐れがあります。

◆こまめに水分・塩分をとる

水分と塩分は汗で失われてしまいます。仕事を始める前からこまめにスポーツドリンクや食塩水(0.1~0.2%、コップ1杯に対し食塩はひとつまみの半分ぐらい)等で補給する。



◆休憩は風通しの良い涼しい場所で



◆睡眠不足・疲労は大敵

- 寝不足や二日酔いなどは熱中症のもと。
- 暑くて食欲が落ちる時期でも、食事をしっかりとることが大切です。

◆できるだけ涼しい服装を



●仕事の安全衛生に問題がなければ、綿等の通気性・吸湿性のよい生地で、明るい色調の風通しのよい服装で仕事をする。

●直射日光の当たる屋外での仕事には、つばの広い帽子も有効。

衛生委員会だより

No.28
2023.7



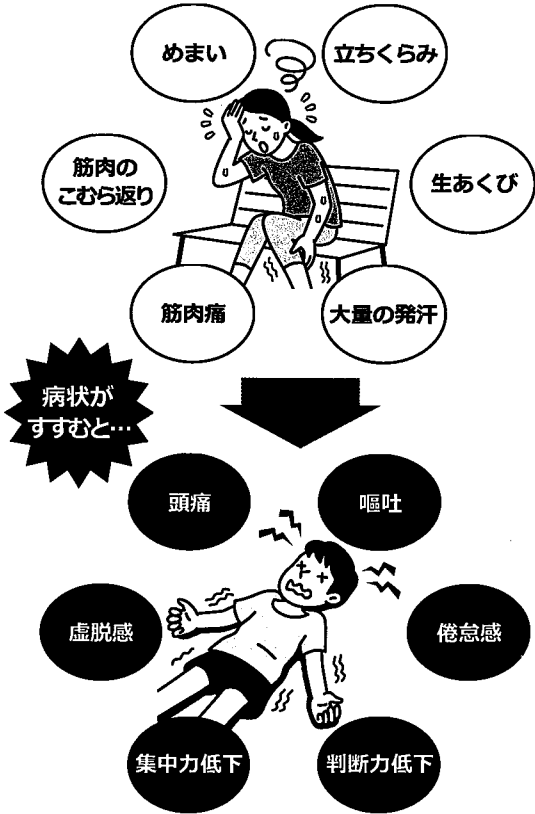
七月三日、第四回衛生委員会が開催され熱中症について話し合われました。

熱中症とは

熱の負荷が大きく、通常であれば働かはずの体温調整機能があまり働かなくなったことによる体調不良です。

熱中症になると

手足のしびれ、めまい、立ちくらみなどから始まり、病状が進むと頭痛や嘔吐などの症状がでます。



熱中症予防

①のどが渇いていなくてもこまめに水分補給

食事からの摂取も含め一日あたり2ℓ以上が目安です。

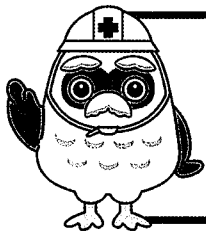
② 室内でも熱中症予防
暑さを感じなくても室温や外気温を測定し、扇風機やエアコンを使って温度調整するよう心がけましょう。

③ 声かけ

「お水飲んでますか？」
「少し休んだ方がいいんじゃない？」
お互いに声をかけながら、体調の変化に気を付けましょう。



はしごや脚立を使用する際は、高さが1m未満の場所であっても墜落時保護用のヘルメットを着用して、頭部の負傷を防ぎましょう。



編集後記

梅雨の蒸し暑い日が続いていきます。雨天の日は肌寒い位の気温、中休みの晴れた日は真夏の暑さになり、繰り返す。この変化にも身体は順応しながら、夏本番の暑さに対応できるような慣れて行くのではと思います。

ここ数年は、コロナ感染への対応で大変な生活でしたが、今年、国内の経済動向や一般生活のニーズが多くなった様に思います。しかし、コロナ感染は依然として続いており、熱中症や食中毒など多くの事に注意が必要ですが、一日の時間、一年の時間を楽しめる様に頑張っていきたいと思います。



◆ 広報委員会 ◆

委員長	村上喜男
副委員長	村上泰司
委員	小野良子
委員	岩間みよ子

Y:M